

みんなでパシャっと！4-2ミラクルカメラマン

～伝えよう 広げよう 折本70～

4年2組 白須 沙也香

1 単元について

活動に向かう子どもの思いや願い

今年の総合をどうしたいか、これまでの生活科、総合の学習を振り返りながら話し合うと、「地域の歴史をもっと知りたい」「形に残るようなものにしていきたい」といった思いが出てきた。そこから記念すべき70周年の年に、自分たちだからこそできることはないかと考え、子どもたちは、折本小学校のひと・もの・ことを中心に、折本のまちならではのものを収めた写真集を制作し、「今」の折本小やまちの魅力を残し、それを未来に繋げていくことで、70周年を盛り上げたいという思いをもった。

身に付けさせたい力と材について

子どもたちが折本のまちの魅力を追究するために、学校や地域の風景を繰り返し撮影することで、自分たちの学校やまちのよさを実感するとともに、折本のまちの特徴やまちの人の温かさに気付いたりすることができると考えている。

写真集を制作する際に、写真を価値づけするためには、写真集で伝える内容を明確にし、被写体の選択や効果的な撮影方法、取捨選択の仕方が大切になる。また、プロのカメラマンの方と関わる中で、カメラの操作や技術的なことを習得するだけでなく、カメラマンの方の言動や作品から職業に対する思いを感じとることができると考えている。

子どもたち一人ひとりが70周年のお祝いの年に「学校やまちの魅力をたくさんの人に伝えたい」という気持ちを大切にし、自分たちが折本のまちの一員であることに誇りと愛着をもてるような活動にしたい。

単元目標

「70周年のお祝いの年に、多くの人に折本のまちの魅力を知ってもらいたい」という思いの実現に向けて、学校や折本のまちの魅力を写真集で発信する活動を通して、自分たちが暮らすまちの魅力や、学校に通う子どもたちを大切に思ってくれている人がいることを知り、自分たちが地域の一員として、地域の人々がつながり喜んでくれるために自分にできることを考え、行動しようとするができる。

探究課題の解決を通して育てたい資質・能力

探究課題	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
写真を撮る活動を通して、学校やまちの魅力や地域の人々の思い	<ul style="list-style-type: none"> 周年行事への写真集での参画がまちのつながりをより密なものにできる可能性があることを理解する。 写真の被写体には時間による写り方の変化があることや写したいものに焦点を合わせるなど撮影には様々な技術を要することを理解する。 学校や子どもたちのために取り組む人々の考え方や思いについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な写真を見て、「主張」「写真へのこだわり」「構成」などの特徴や良さに着目し、比較・分類することでそれぞれの写真の良さを捉える。 収集した情報を取捨選択し、表現の方法を工夫しながら学校やまちのよさが伝わる写真集を制作し、発信する。 自分たちの考えた写真集を広めるために適切な方法を考え、地域の方と協力しながら予算等についても考えて写真集を届けるための方法を具体的に見通して、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や折本のまちの魅力を写真集を制作する活動を通して、まちに住む方々や活性化に尽力する方々と関わりながら、自分たちの住む折本のまちの魅力を追求しようとする。 写真撮影に関する理解を深めるために、プロカメラマンのTさんと積極的に関わり、インタビューを行ったり一緒に撮影したりする。 写真集をたくさんの人に届けることで、まちの活性化に役立つことができた自分自身に気付き、地域の一員としてまちの活性化のために継続してできることを考え続けようとする。

2 研究主題との関連

①実社会・実生活と「つなぐ」

本単元は、写真展を開いたり写真集を作る活動を実現するためにたくさんの人の協力が必要となってくる。自分たちの力で解決するのではなく、たくさんの人の支えや協力があって自分たちの活動が成り立ったり夢が実現することを実感し、まわりの人に感謝する気持ちを育てたい。そして、日ごろから進んで挨拶したり、会話したりして積極的に関わることができるようにしたい。

また、繰り返し関わるプロのカメラマンの方からお話を聞いたり、一緒に活動をしていく中で、写真や仕事に対する思いやこだわりなど、表面上では分からないことにも気づかせたい。

②一人ひとりの学びを「つなぐ」

撮影した写真は、必ず全員で見合う時間を取るようにする。それぞれが感じたことや友達の子どもの作品のよさなどを共有し認め合うことで、子どもたち一人ひとりが自分の作品に自信をもてるようにし、どんどん他者に発信していきたいという気持ちをもてるようにしたい。

③授業と授業、単元と単元を「つなぐ」

単元の初めに、3年生の総合的な学習の時間においてどのような探究活動を行ったか振り返り、自分たちの活動を思い出せるようにする。そして、地域の方と関わるときに、以前の学習でお世話になった方々ともつながりをもてるようにする。

単元の一つ一つが自分たちの夢の実現に向けてつながっていることを自覚できるよう、学習を進めていくうえで、分かったことや気づきを紙に記録し、壁に掲示しておく。それを見て子どもたちがいつでも自分たちの活動を振り返ることができるようにしたい。

みんなでパシャっと！4-2ミラクルカメラマン

～伝えよう 広げよう 折本70～

(全80時間 総合70 国語5 社会4 道徳1)

1 70周年のお祝いの年に私たちができることは何だろう (総合8時間 道徳1時間)

- 自分たちの目指す総合について話し合う。
- 学校や地域に役立ち、残るという視点で学習材を決定する。
- 見通しをもつために、大まかな年間の学習計画を立てる。

折本のまちの人たちにとって、いつまでも残るような自分たちにしかできないことを取り組みたいな。今年は折本小学校の創立70周年だから、折本小学校やまちの魅力を写真集にして、学校や地域の人たちに届けたい。そうすれば、それが形としていつまでも残すことができるし、未来の折本小やまちに伝えることができる。学校や折本のまちのよさを写真で伝えて70周年をお祝いしよう。学校や折本のまちのよさが伝わる写真を撮ろう。

2 よさが伝わる写真を撮ろう (総合22時間 国語2時間)

- 学校や折本のまちのよさについて話し合う。
- 学校やまちの写真を撮りに行く。
- 写真を通して自分たちが伝えたい思いが伝わるか調査する。
- 撮るものや撮り方について話し合う。

みんなで話し合ってみると学校や折本のまちのよさがたくさん挙がったね。写真を通して自分たちの伝えたい思いが伝わるか実際にやってみよう。今回自分たちは「やさしさ」をテーマに撮ったつもりだったけど、うまく伝わらないね。どこに問題があるんだろう。人それぞれ受け止め方が違うから様々な方法で撮る必要があるみたいだね。自分たちの写真をプロのカメラマンの方に見てもらおう。プロのカメラマンの方に相談しよう。

3 折本の魅力が詰まった写真集を作るためにミラクルカメラマンになろう (総合20時間)

(※本小単元)

- プロの方に撮影技術や写真集の作り方を教わり撮影計画を立て、さらに写真を撮り貯める。
- 写真展を開いて折本小学校の児童や地域の方に写真を見てもらおう。
- 写真展1回目：70周年式典〔11月〕
- 写真展でもらった意見をもとに学校やまちの魅力が伝わったか話し合う。
- 話し合った結果をもとに、OKフェスタに向けて再び写真を撮りに行く。
- OKフェスタで2回目の写真展を開く。(2回目：OKフェスタ〔12月〕)

プロの方のアドバイスで、撮影に行く前の準備の大切さを知ることができたし、今後の見通しをもつことができたね。教わった技術が生かされて、良い写真が撮れるようになってきたね。もっとたくさんの人に自分たちの作品を見てもらって、意見を聞きたいな。写真展を開いたら、たくさんの人に自分たちの作品を見てもらうことができたね。多くのアンケートが集まったよ。自分たちが改善するべきことが見えてきたし、自信もついたね。2回目の写真展に向けてもっと写真を撮ろう。写真を通して学校や折本のまちのよさを発信できるようになってきたよ。この写真を写真集に載せたいな。写真集作りが楽しみになってきたよ。

4 写真集を届けて折本の魅力を伝えよう広げよう (総合20時間 国語2時間 社会4時間)

- 印刷会社の方と関わり、印刷、製本し、お世話になった方々やまちの人へ届ける。
- 写真集を見た方からのメッセージを読む。

まちの方々の優しさや折本小のよさに改めて気付くことができたね。この写真集が多くの人たちの手に届いてずっと残ると思うと嬉しい。自分たちが折本のまちの一員だと感じることもできた。そして、折本小学校はたくさんの人に関わって愛され続ける学校だということに気付いて良かった。今後もまちに積極的に関わりたいな。

4 小単元構想

(1) 小単元目標

「70周年のお祝いの年に、多くの人に折本のまちの魅力を知ってもらいたい」という思いの実現に向けて、写真の撮り方の研究や、写真集の構成のための意見を集めるなどの活動を通して、撮影の技術や写真集の構成のための情報を収集・分析する力を身に付けるとともに、プロのカメラマンのTさんや印刷会社の方と関わり、自分たちに行き届くことは何かを考え、目指す写真集の見通しをもち、完成させようとする。

(2) 小単元の評価規準

知識・技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 写真の被写体には時間による写り方の変化があることや写したいものに焦点を合わせるなど撮影には様々な技術を要することを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を取捨選択し、表現の方法を工夫しながら学校やまちのよさが伝わる写真集を作製し、発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や折本のまちの魅力を写真集で制作する活動を通して、まちに住む方々や活性化に尽力する方々と関わりながら、自分たちの住む折本のまちの魅力を追求しようとしている。

(3) 小単元展開

学習課題・学習活動・期待する変容

3 折本の魅力が詰まった写真集を作るためにミラクルカメラマンになろう⑩

伝えたいことを伝えるためにはどうすればよいだろうか ⑧

プロのカメラマンの高田さんにカメラや写真の撮り方について教えてもらう。

・写真を撮りに行くときは事前にカメラの機能をよく知っておくことや、電池を満タンにしておくことが大切だということがわかったね。半分ボタンを押すとピントを撮りたいものに合わせたまま角度を変えることができたよ。高田さんは何を撮るか決めたら、何か月も前から計画を立てたり準備をしたりしていることがわかったね。高田さんの話を聞いてたくさん分かったよ。高田さんに教えてもらったことを生かして、写真展にかざる写真を撮りに行こう。

写真展を通して学校や折本のまちのよさが伝わるのだろうか ⑤

写真展を開いて自分たちの作品を見ていただき、アンケートでリアクションをもらう。

・70周年式典では、たくさんの人に見てもらえる機会だから、アンケートをとって写真を見た方々の感想を知りたいな。自分たちの写真で学校やまちのよさが伝わったかどうか尋ねよう。写真はどのように飾ったらいいのかな。一般的な写真展の様子が知りたいな。ただ並べて貼るだけじゃなくて、飾り方にも工夫の仕方があるんだね。自分たちの写真をたくさんの人に見てもらいたいな。

自分たちの作品で学校やまちの魅力は伝わったのだろうか ⑦

アンケートの結果を踏まえて、学校やまちの魅力が伝わる写真になっていたのかどうかを話し合う。(★本時)

・写真展を開いたら、たくさんの人に自分たちの作品を見てもらうことができたね。多くのアンケートが集まったよ。折本の美しい景色の写真を見て、その場所に行ってみたくてくれた人がいるよ。〇〇の写真も載せて欲しいという意見もあるね。自分たちが写真を通して伝えたかったことを、もう一度確認しよう。まちのよさの「自然が豊か」や「地域の人がやさしい」は伝わったけど、学校のよさの「子どもが主人公」はあまり伝わらなかったね。どうすれば自分たちの思いが伝わるかな。撮り方や撮る場所を工夫して、もう一度チャレンジしよう。アンケートに答えてくれた人たちは、自分たちのために真剣に考えてくれたね。写真展を開くことで、まちの人とつながることができたね。学校やまちのよさを多くの人に発信するためにもっといい写真を撮りたいな。12月のOKフェスタでは、今回よりもっとよさが伝わる写真展を開こう。

話し合った結果をもとに、OKフェスタに向けて再び写真を撮りに行く。OKフェスタで2回目の写真展を行う。

・アンケートにあった〇〇の写真も撮りに行こう。まちのよさは伝えることができたから、学校の写真を多くとりたいた。前回よりも人物を多く写して、表情も伝わるようにしたいな。学校のみならず地域の方々にもよるこんでもらえる写真集を目指そう。思いが伝わる写真を選ぼう。1回目の写真展の反省を生かして2回目の写真展を開こう。前回と違う写真を選ぼうかな。この写真に写っている子どもたちの表情がいいから、学校のよさが伝わると思うよ。2回目の写真展も成功させよう。今回もたくさん人に来てもらうことができたね。自分たちが伝えたいことをたくさんの人に発信することができたね。今までにももらったアンケートの意見を参考にしながら写真集に載せる写真を選ぼう。

5 本時について

(1) 本時目標

70周年式典でいただいたアンケートの言葉やお客さんの反応をもとに、写真展で学校や折本のまちのよさを知ってもらうことができたかどうかについて話し合うことを通して、次回のOKフェスタでの写真展に向けて、見る人の立場に立った写真の撮り方や伝え方を工夫して発信しようとする意欲を高める。

(2) 本時の展開 (9/20時)

予想される子どもの活動と反応	☆手立て ★評価規準
<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて OKフェスタに向けて、どうすれば もっと良い写真展になるか考えよう</p> </div> <p>①テーマごとにアンケートの結果を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに書かれたよかったことや課題 ・テーマの達成度を表す点数（一人4点、全テーマ満点は同じ） ・みんなが選ぶお気に入りの一枚 <p>②アンケートの結果を受けて思ったことや考えたことを話し合う。</p> <p><u>自分たちの思いが伝えられたこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然が豊か」はテーマと写真が合っていて、折本のよさが伝わってくる ・「地域の人がやさしい」は全体的にいい表情が撮れたと思う ・「子どもたちが元気いっぱい」は自然な感じで撮れた ・「子どもが主人公」は子どもたちのいい表情が撮れた <p><u>自分たちの思いが伝えられなかったこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やさしさ」を伝えるためには、全体を写すよりもアップの方がよさそう ・自分たちの学級の写真が多くなってしまった ・ブレている写真では「よさ」は伝わりにくくなってしまふ ・「子どもが主人公」を写真で伝えるのは難しい ・テーマの研究が足りなかったと思う <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>70周年式典では、自分たちの写真展で学校や折本のまちのよさをみんなに知ってもらうことができたと言えると思う。だけど、アンケートの結果で「子どもが主人公」があまり伝わっていないことが分かったよ。</p> </div> <p>③もっと「子どもが主人公」を伝えるためにはどうすれば良いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何をしているのかよくわからない写真もあったね。 ・自分たちは分かっているけど、学校のことを知らない人が見たら分かりずらかったね。 ・折本ならではの「子どもが主人公」を伝えるのは難しいね。 ・もっと計画的に場所やシーンを考えて撮影する必要があるそうだ。 ・学校行事のときの子どもの姿を撮れば、折本らしい写真が撮れると思うな。 ・人を撮るときは目にピントを合わせるといって高田さんが言っていたよね。 ・確かに、点数が高かった「地域の人がやさしい」は、しっかりと地域の人表情が写っているし、目にピントが合っているね。 ・教えてもらったことを意識して、もう一度写真を撮りに行こう。 ・写真を撮ったら、もう一度高田さんに作品を見てもらいたいね。 <p>④話し合っ考えたことをもとに、次の時間からの取組について考え、振り返りをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮り方を〇〇のように変えてみようと思った。 ・撮る場所やものを変えてみようと思った。 <p>・今よりももっとよい写真を撮って、より多くの人に学校や折本のまちのよさを伝えたい。</p>	<p>☆アンケートと点数の集計は、前時まで済ませ、それぞれのチームごとに結果は秘密にしておく。</p> <p>☆ 黒板で子どもの発言を整理する際に、多くの子どもたちが達成感を感じ、自分たちの目的に達することができたと感じている事実を可視化するために、発言が多い事実はアンダーライン等で強調して表すようにする。</p> <p>☆ 成果と課題を区別して話し合うことができるように板書でまとめ、子どもたち自身で課題に気付けるようにする。</p> <p>★話し合ったこと根拠にして、何を追及していくべきか見通しをもつことができる。 【発言・学習カード】</p>

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>総合で取り扱う材を「写真」として、どの子どもも楽しんで取り組めるようにした点。また、教室にカメラを置いておき、子どもたちが好きなタイミングで写真が撮れるように環境を整えたこと。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p> <p>意欲のある子どもたちだったので、日々作品を撮りためていたので、その全てを印刷するのに苦勞しました。また、写真の技術はプロのカメラマンさんの協力もあって、上達したのですが、自分たちの思いを伝えるための写真を撮ろうとなったときに、なかなか思うようにいかず、その壁を乗り越える手立てが思いつかず苦勞しました。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>子どもたちの夢は、学校やまちのよさを伝える写真集を作て、たくさんの人に写真集を届けて、広げるということなので、たくさんの人たちに自分たちの活動を知ってもらい、支えてもらったことを実感することかできたようで、子どもたちの方から「今までお世話になった人たちに写真集を届けた」という声があがりました。この活動を通して表現力だけでなく感謝の気持ちもつたことかできたことか。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>今回、初めて景観まちづくり学習助成事業の取り組みも知り、応募させていたいただいたことにより、子どもたちの夢を叶えることかできたこと強く感じています。校内の職員も活用したことか言っていました。自分たちの力だけが、やり遂げる方法もありますが、このような事業の取り組みがあることで、より学びが深まると感じます。もっと多くの学校にこの取り組みを広げたいかと思いました。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>今回、このような助成金がもらえたことかどのように伝えようか考えていたのですが、3月の学習がなくなりましたこともあり、計画通りに伝えることかできずせんでした。いかにうまく関連付けて話すかは、とても大切なことだか思います。子どもたちが、まわりの人の支えに気づいたり、お金のありがたさに気づくことか学習の中の大切な学びなので、計画的に伝えることか大切だか感じました。</p>